

平成27年度庄原市キャリアデザイン研修会

平成27年8月18日 庄原市ふれあいセンター

学校を取り巻く社会状況が変化の中で、庄原市教職員は50代が半数以上という年齢構成を踏まえ、教職員の人材育成をより一層意図的・計画的に進めていく必要があります。庄原市教育委員会では、平成24年度から本研修会を開催し、本年度は、ベテラン層（平成27年度末時点で教職経験25年以上の教職員）の希望者を対象に、実施しました。

目的：年齢層に応じた役割期待を明確にするとともに、教職員自らが目標を掲げ主体的に能力開発に取り組むなどにより、教職員一人一人の能力と意欲の向上を図り、学校の教育力を高める人材を育成する。

内容：講話「年齢層に応じた役割期待」

庄原市教育委員会 学事係長兼主任管理主事 小原 智子

講話「キャリアデザイン研修会ーアクション・プランを踏まえた学校づくりー」

広島県立教育センター 企画部長 馬屋原 幸孝

年齢層に応じた役割期待



【受講者から】

- どの教科でもパフォーマンス課題を工夫して取り入れることが効果的であるということが分かった。
- 学校における分散型リーダーシップで自分の立ち位置を明確にすることができた。
- アクション・プランで示されている内容は、子供たちに求められていると同時に、私たち教職員にも求められていることが理解できた。

【受講者から】

- 自分たちの世代の果たさなければならない責任の重さを実感した。
- 若手職員の悩みを聞き、自分の実践や思いも語っていききたい。
- 社会の変化に対応して、自分の考え方や取組方法等も適切に変えることができる柔軟性が必要と感じた。



講話「キャリアデザイン研修会ーアクション・プランを踏まえた学校づくりー」では、
○社会の変化に対応して求められる資質・能力
○自分の強みについてのグループ協議
○アクション・プランを踏まえた教育活動等についてのグループ協議
○事前アンケート(管理職・教職員)の結果から
○パフォーマンス課題の評価 等
幅広く貴重なご示唆をいただき、受講者の意欲の向上につながりました。



キャリアデザイン研修会
(アクション・プランを踏まえた学校づくり)